

Message from the Head

東アジア研究を専攻、とりわけ70年代から90年代にかけて学んだ人々は、未知なる世界を恐れずに、好奇心と情熱、やる気と専心を原動力に突き進んだ、リスク・テイカーだったといえるでしょう。

世界がまだ東アジアにほとんど関心を向けていなかった時代、EALCの学生達はその歴史的重要性と現代的な活力を認めていました。彼らは自らのそれとは大いに異なる言語や文化に熱中し、その多くが中国、台湾、日本、そして韓国といった国々で実際に暮らすことで、さらに見識を深めました。現在、EALCの卒業生は学業を通して身につけた技能を生かし、様々な分野で素晴らしい成功を収めています。例えば、大学やカレッジの東アジアの美術史、歴史、文学、人類学、言語教育などの学術的な分野で活躍している方々や、ビジネスや法律の世界で成功し、企業のCEOやウォール・ストリート投資家、国際法をリードするような役割を担っている方々もいます。我々は卒業生とその業績を誇りに思うと同時に、その成功には不可欠であった技能を磨く場所としてのEALCの役割にも誇りを感じています。卒業生の皆様からの近況のご連絡を心待ちにしています。

-Karen Kelsky, Head, EALC / EALC 学科長 カレン・ケルスキー